



150周年と人権週間

児童支援専任 神倉 杏奈

今年も残すところあと1か月となりました。11月25日(土)には、末吉小学校創立150周年記念式典が行われました。「過去から未来 つながるバトン ～自分を信じ 仲間と広げる可能性～」というスローガンのもと、昨年度から子どもたちは、様々な学習活動を通して、末吉小学校の「150さいのお誕生日」をお祝いする準備を進めてきました。「お祝いの会」に向けての取組は、学級や学年としてのまとまりをさらに高め、末吉小学校としての一体感を生み出す貴重な経験となりました。午後の地域・PTAとの式典では、市長もお越しくださいました。皆様にお祝いされ、末吉小学校の輝かしい歴史を感じました。そしてこれからも、子どもたちと素敵な歴史を作っていきたいと思いました。

これまでの準備や当日の運営に向けて、ご支援をしてくださった地域・PTA・関係機関の皆様にも心より感謝申し上げます。今後も、家庭と地域と学校が、それぞれの立場で支え合い、子どもたちが、末吉のまちを愛する、温かい心をもった人に成長していってくれることを願っております。

末吉小学校では、12月4日(月)～18日(月)までの人権週間に、いじめや他者との違いをテーマにした本の読み聞かせや動画の視聴などを行います。感想を話し合う活動を通して、いじめや差別をなくすための行動について考えを深めていけたらと思います。人はみな、顔も考え方も違います。年齢も性別も生まれた国も違います。関わり合う中で、思いやったり折り合いをつけたりする経験を重ねていってほしいと思っています。また、いじめ防止を推進すべく、この期間に、今年度2回目の全市一斉いじめ防止アンケートを行い、子どもたち一人ひとりの思いを尋ねていきます。学校生活を通して、自分のことも人のことも大切にする気持ちを育てていくことができるよう、教職員一同、子どもたちに寄り添っていきます。

さらに、ご家庭におかれましては、この機会に、しつけと虐待について知っていただけたらと思います。現在は、しつけとしてお子さんをたたくことも虐待の一つになります。年度始めに虐待についてのプリントを配付いたしましたので、改めて内容をご確認ください。また学校ホームページ ホーム>配付文書でもご覧いただけます。

学校や地域社会には、虐待が疑われる状況を、児童相談所や警察へ通報する義務があります。もしご心配なことがある場合は、学校にもご連絡ください。なお、虐待につながるような行為がある場合、そのお子さんだけでなく、その保護者の方も苦しんでいます。どうぞ、相手を理解しようとする優しい心で見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

